

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公開番号】特開2011-159180(P2011-159180A)

【公開日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2011-033

【出願番号】特願2010-21589(P2010-21589)

【国際特許分類】

G 0 6 F	3/0488	(2013.01)
G 0 6 F	3/041	(2006.01)
G 0 6 F	3/0487	(2013.01)
G 0 6 F	3/0481	(2013.01)
G 0 9 G	5/00	(2006.01)
G 0 9 G	5/36	(2006.01)
G 0 9 G	5/38	(2006.01)
G 0 9 G	5/377	(2006.01)

【F I】

G 0 6 F	3/048	6 2 0
G 0 6 F	3/041	3 3 0 C
G 0 6 F	3/048	6 3 0
G 0 6 F	3/048	6 5 7 A
G 0 9 G	5/00	5 5 0 C
G 0 9 G	5/36	5 3 0 Y
G 0 9 G	5/38	A
G 0 9 G	5/36	5 2 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月22日(2013.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示手段に対するタッチ操作を検出するタッチ検出手段と、

特定の機能が割り当てられた表示アイテムを表示するように前記表示手段の表示を制御する表示制御手段と、

前記表示手段に表示された前記表示アイテムに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間以内に該タッチが離されると、前記表示アイテムに割り当てられた機能を実行するように制御し、前記表示手段に表示された前記表示アイテムに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、前記表示アイテムの位置を変更するための動作モードである位置変更モードに遷移するように制御する制御手段と

を有することを特徴とする表示制御装置。

【請求項2】

表示手段に対するタッチ操作を検出するタッチ検出手段と、

複数の表示アイテムを表示するように前記表示手段の表示を制御する表示制御手段と、

前記表示手段に表示された複数の表示アイテムのうちの何れかに対するタッチがあり、

該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、前記表示アイテムの位置を変更するための動作モードである位置変更モードに遷移するように制御する制御手段とを有し、

前記表示制御手段は、前記位置変更モードにおいて、

なされているタッチのタッチ位置の移動に追従して表示アイテムの表示位置を変更し、

該タッチが離されたことに応じて、該タッチが離される直前のタッチ位置に対応する移動先に、タッチされていた前記表示アイテムを移動して表示させるとともに、該移動先に既に他の表示アイテムが表示されていた場合、該他の表示アイテムを前記タッチされていた表示アイテムがタッチされる前に表示されていた表示位置に表示するように制御することを特徴とする表示制御装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記位置変更モードに移行した後、タッチしたまま移動する操作に基づいて、該タッチ操作の対象である表示アイテムを複数の移動先候補の何れかに移動させるように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の表示制御装置。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記位置変更モードに移行した後に前記表示アイテムがタッチされ、該タッチを継続したまま移動する操作が行われたことに基づいて、該タッチされた表示アイテムを、予め定められた複数の移動先候補の何れかに移動させるように制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の表示制御装置。

【請求項 5】

前記位置変更動作モードにおいて表示アイテムがいずれかの移動先に移動され、該位置変更モードを終了させた後、前記制御手段は、

該移動後の表示アイテムがタッチされ、該タッチがなされてから前記所定時間以内に該タッチが離されると、該表示アイテムに割り当てられた機能を実行するように制御し、

前記移動後の表示アイテムがタッチされ、該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、前記位置変更モードに遷移するように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の表示制御装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、前記表示手段に表示された前記表示アイテムに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、前記表示アイテムの位置を変更できる旨を示す表示を行うように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の表示制御装置。

【請求項 7】

前記位置変更モードにおいて、前記表示制御手段は、表示アイテムがタッチされたことに応じて、タッチされた該表示アイテムを、該表示アイテムのタッチ前の表示位置とは異なる他の表示位置に移動して表示させ、前記タッチ前の表示位置は空白領域とするように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の表示制御装置。

【請求項 8】

前記表示制御手段は、前記位置変更モードにおいてタッチされた表示アイテムを、該タッチが継続したままの移動に応じて、該タッチのタッチ位置に対応する表示位置に表示するように制御することを特徴とする請求項 7 に記載の表示制御装置。

【請求項 9】

前記表示制御手段は、前記位置変更モードにおいて表示アイテムがタッチされたことに応じて前記他の表示位置に移動された該表示アイテム上の所定の領域に、タッチが継続したまでタッチ位置が移動し、その後更に該タッチ位置が移動した場合、タッチされた前記表示アイテムを該タッチ位置の移動に追従して位置を変更するように制御することを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の表示制御装置。

【請求項 10】

前記表示制御手段は、前記位置変更モードにおいて表示アイテムがタッチされ、該タッ

チのタッチ位置が移動した後に該タッチが離されたことに応じて、複数の移動先候補のうち、該タッチが離される直前のタッチ位置に対応する移動先候補に、タッチされていた前記表示アイテムを移動して表示させることを特徴とする請求項7乃至9のいずれか1項に記載の表示制御装置。

【請求項11】

前記表示制御手段は、前記直前のタッチ位置に対応する移動先候補に既に他の表示アイテムが表示されていた場合、該他の表示アイテムに隣接させて前記タッチされていた表示アイテムを表示させた後、前記タッチされていた表示アイテムを前記直前のタッチ位置に対応する移動先候補に表示させるとともに、前記他の表示アイテムを前記タッチされていた表示アイテムがタッチされる前に表示されていた表示位置に表示するように制御することを特徴とする請求項10に記載の表示制御装置。

【請求項12】

前記位置変更モードとは異なる複数の動作モードを有し、各動作モードにおいて前記表示手段に表示される表示アイテムの組み合わせは異なり、前記表示制御手段は、前記位置変更モードにおいて、該位置変更モードに遷移する前の動作モードにおいては表示されず、他の動作モードにおいて表示される表示アイテムを、前記前の動作モードにおいて表示される表示アイテムとともに、表示位置を変更する候補の表示アイテムとして表示するように制御することを特徴とする請求項1乃至11の何れか1項に記載の表示制御装置。

【請求項13】

前記制御手段は、前記位置変更モードに移行した後、複数の表示アイテムの配置について予め定められた複数のパターンのうち何れかのパターンがユーザーにより選択されたことに応じて、該選択されたパターンの配置となるように前記表示アイテムを移動するように制御することを特徴とする請求項1乃至12の何れか1項に記載の表示制御装置。

【請求項14】

前記表示制御手段は、それぞれ機能が割り当てられた複数の表示アイテムを表示するように制御し、

前記制御手段は、

前記表示手段に表示された前記複数の表示アイテムのいずれかに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間以内に該タッチが離されると、タッチされていた表示アイテムに割り当てられた機能を実行するように制御し、

前記表示手段に表示された前記複数の表示アイテムの何れかに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、前記位置変更モードに遷移するように制御することを特徴とする請求項1乃至13の何れか1項に記載の表示制御装置。

【請求項15】

撮像手段を更に有することを特徴とする請求項1乃至14の何れか1項に記載の表示制御装置。

【請求項16】

前記表示アイテムに割り当てられた機能は、前記撮像手段による撮像に関する設定を行う機能であることを特徴とする請求項15に記載の表示制御装置。

【請求項17】

前記表示制御装置は、携帯電話端末であることを特徴とする請求項1乃至16の何れか1項に記載の表示制御装置。

【請求項18】

前記表示制御装置は、パーソナルコンピュータ、PDA、携帯型の画像ビューワ、プリンタ装置に設けられた印刷画像選択および確認のためのディスプレイ、デジタルフォトフレームのうちの少なくとも1つであることを特徴とする請求項1乃至16の何れか1項に記載の表示制御装置。

【請求項19】

表示手段に対するタッチ操作を検出するタッチ検出工程と、
特定の機能が割り当てられた表示アイテムを表示するように前記表示手段の表示を制御する表示制御工程と、

前記表示手段に表示された前記表示アイテムに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間以内に該タッチが離されると、前記表示アイテムに割り当てられた機能を実行するように制御し、前記表示手段に表示された前記表示アイテムに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、前記表示アイテムの位置を変更するための動作モードである位置変更モードに遷移するように制御する制御工程と

を有することを特徴とする表示制御装置の制御方法。

【請求項 20】

表示手段に対するタッチ操作を検出するタッチ検出工程と、
複数の表示アイテムを表示するように前記表示手段の表示を制御する表示制御工程と、
前記表示手段に表示された複数の表示アイテムのうちの何れかに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、前記表示アイテムの位置を変更するための動作モードである位置変更モードに遷移するように制御する制御工程と、

前記位置変更モードにおいて、なされているタッチのタッチ位置の移動に追従して前記表示アイテムの表示位置を変更し、該タッチが離されたことに応じて、該タッチが離される直前のタッチ位置に対応する移動先に、タッチされていた前記表示アイテムを移動して表示させるとともに、該移動先に既に他の表示アイテムが表示されていた場合、該他の表示アイテムを前記タッチされていた表示アイテムがタッチされる前に表示されていた表示位置に表示するように制御する工程と

を有することを特徴とする表示制御装置の制御方法。

【請求項 21】

コンピュータを請求項 1 乃至 1_8 のいずれか 1 項に記載の表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 22】

コンピュータを請求項 1 乃至 1_8 のいずれか 1 項に記載の表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

また、接触入力によって操作可能な G U I のボタンをユーザに操作させる場合、表示領域の大きさによっては、個々のボタンの表示サイズを小さくする必要がある。このような場合、ユーザが指でボタンを選択しようとすると、ボタンの表示を覆ってしまい、ボタンを視認することが難しく、ユーザは選択されたボタンを認識できないことがあった。

本発明は、直感的な操作によって、機能の割り当てられたボタンを移動することのできる表示制御装置を提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

前述の目的を達成するために、本発明の表示制御装置は、以下の構成を備える。

表示手段に対するタッチ操作を検出するタッチ検出手段と、特定の機能が割り当てられ

た表示アイテムを表示するように表示手段の表示を制御する表示制御手段と、表示手段に表示された表示アイテムに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間以内に該タッチが離されると、表示アイテムに割り当てられた機能を実行するように制御し、表示手段に表示された表示アイテムに対するタッチがあり、該タッチがなされてから所定時間該タッチが継続したことに応じて、表示アイテムの位置を変更するための動作モードである位置変更モードに遷移するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このような構成により本発明によれば、直感的な操作によって機能の割り当てられたボタンを移動することを可能とする。